

青森県立保健大学広報誌 活彩！保健大学だより

# Campus Magazine

vol. 49

2022 春



学長  
吉池 信男

## 学長あいさつ

4月から学長になりました「1年生」です。14年前に横浜から移り住み、冬の雪にも負けずに、青森の自然と食べ物と日本酒と温泉を楽しんでいます。皆さんも、学生生活を楽しみながら、青森のことをより良く知り、地域の人々の健康にも貢献できるといいですね。ご両親やご家族の皆様、その他この冊子をお読みの皆様が、保健大学のことを知り、身近に感じていただけると嬉しく思っています。



モーリーとリンリン®

## 令和4年度 入学式 4月5日(火)

感染症防止対策を徹底し、令和4年度入学式を本学講堂で執り行い、健康科学部・健康科学研究科併せて227名の新たな仲間を迎え入れました。

新入生の名前が一人ひとり読み上げられ、緊張と期待に満ちた声で返事をする新入生の姿が印象的でした。全員の入学が許可された後、吉池信男学長から、「本学のこと、青森のこと、そして毎日の生活を益々好きになり、楽しんでいただくとともに、不透明で混沌としている世界情勢や多くの地球規模の課題に関心をもち、「未来」のために行動する保健大学生であってほしい」との言葉が述べられました。入学生代表宣誓では、会津遥斗さん(社会福祉学科1年生)が新入生を代表して、ヒューマンケアの精神を基盤とした多くの知識や技術を学び、少しの努力も怠らずに日々励んでいくことを誓いました。

新しい仲間を迎えての新たな1年が今年も始まります。本学で積んだ経験の一つひとつが、数年後の彼らの大きな成長と夢の実現へと繋がっていく、その一歩を踏み出した記念日であることを感じさせてくれる入学式でした。



## 新入生研修 4月9日(土)



学生自治会長  
松本 侔実さん

毎年、新入生の学校生活への不安の解消や、新入生と上級生・教職員の親交を深めることを目的として実施される新入生研修。今年度も感染拡大防止の観点から学内開催となった研修に、学生自治会9名、各学科上級生の学生サポーター46名で参加しました。

講堂では、アルコールハラスメント防止の講演、栄養学科上級生による健康的な食生活についての講演を行いました。講演後に行ったレクリエーションでは、学科混合グループで自己紹介や各学科に関する問題を取り入れたグループ対抗クイズを行い、新入生間の交流を図りました。

午後は新入生の悩みの解消を目的に、学科別の会場で自由討論を行いました。勉強や私生活に関する新入生の不安に、上級生が明るく助言をし、終始和やかに交流していました。

教職員の方々や学生サポーターの協力を得て行われた今回の研修を通して、新入生が楽しい大学生活を送るためのお手伝いできたことを嬉しく思います。



## 新入生の近況報告

### 看護学科



工藤 遥菜さん

入学してから約1ヶ月が経ち、徐々に大学生活にも慣れてきました。新しい環境は慣れないことが多く毎日がドキドキの連続ですが、その分新しい出会いもたくさんあり、楽しい大学生活を送っています。同じ目標を持つ友人から多くの刺激を受け、日々自分が成長していると感じています。新入生研修では、学科の先輩方に大学のことだけではなく、アルバイトや一人暮らしの事など相談することができ、今後の大学生活への不安が解消されました。私は姉と二人暮らしをしているので、一人暮らしよりは家事などの分担ができて負担が少ないと思いますが、やはり大変なことが多く、改めて親に感謝しています。

今後、看護師をめざし、専門科目を学んでいくにあたって、大変なことが多いと思います。しかし、さまざまな経験を通して大学生という今しかない時間を楽しみながら多くのことを学び、成長していきたいです。

### 理学療法学科



藤原 希空さん

入学式での不安な気持ちをよそに、今は新鮮で楽しいことばかりの毎日を過ごしています。私は秋田県からきたため、環境や方言など近いものも多くありましたが、知らない道や初めての寮生活など慣れないことも同様に多くありました。ですが、寮生同士で助け合ったり、同学科・他学科の人に青森について教えてもらったりとたくさんの人と関わるきっかけにもなりました。また、寮での生活では家事は基本自分たちでやらなければいけないので、家族のありがたみをとても感じています。

毎日の講義は非常に内容が濃く、自主的に学ぶ姿勢が大切だと痛感しています。今後、実習やテストなど不安なことはまだまだ多いですが、サークル活動や大学祭など4年間の今にしかできないこともあると思うので、たくさんの思い出を作っていきたいと思っています。

# 学生生活サポート

## 学生生活のサポート体制

新入生227名を迎え、2022年度がスタートしました。本学では毎年、新入生が大学生活をスムーズにスタートできるよう「大学生活支援プログラム」を実施しています。今年度も3日間にわたり社会生活上のルールの理解や、生活を自己管理できる力が養われることを目指して専門的な講話や先輩学生との交流を行いました。また、いまだ猛威をふるい続ける新型コロナウイルスに

よって学生の生活には少なからず影響が生じております。引き続き、学生の声に耳を傾け、相談支援体制も強化しつつ、支援を行ってまいります。学生生活には、楽しい出来事もあれば、ときには悩んだり不安を抱えたりすることもあります。いずれの場面においても、学生が安全・安心して学生生活を送ることができるよう丁寧なサポートに努めてまいります。



学生部長  
児玉 寛子

## 学生の心とからだを支える体制について



保健嘱託員  
斎藤 真紀子

- 体のこと** 風邪かコロナか不安。病院に行った方がいいのか。どこの病院何科を受診すればよいか。過食・拒食傾向がある。など
- 心のこと** やる気がおこらない。気持ちが折れる。黙っていても涙があふれ出てくる。眠れない日が続いている。など
- 対人関係** 友人関係が上手くいかない。自分の居場所がないと感じる。相手の気持ちが理解できない。恋愛問題で悩む。など
- 学業一般** 授業変更の把握が上手くいかない。単位や履修のことに不安がある。集中力が続かず、課題がこなせない。進路について悩む。など
- 生活全般** 同じ失敗を繰り返すことが多い。学習障がいや発達障がいではないかと悩む。家庭・下宿・アパート・サークル・アルバイトについて悩む。LGBTについて悩む。など

困ったときは  
とりあえず  
保健室へ！



新入生は、新しい環境に慣れるのが大変です。長引くコロナ禍で、まわりの人たちとのつながりが少なくなり、孤立する人もみられます。親に心配をかけたくないと、ストレスを一人で抱え込み、心身が不安定になっている場合も少なくありません。保健室は、そんな皆さんが元気になるようサポートする窓口です。体調面での悩みについては、本学の医師や学校医の協力を得ながら、受診したり安心して療養できる体制を整えています。心理的な悩みについては、カウンセラー（臨床心理士）や学科の教員、教務学生課とも連携し、個人情報に配慮しながら、状況の改善に努めます。

一人で悩まず、周囲のサポートを受けながら、困難を乗り越え、充実した大学生活を過ごしましょう。

\*カウンセラーによる学生相談は、週1回、11時から15時の間です。期日は、管理・図書館棟掲示板「保健室からのお知らせ」に掲示してあります。臨床心理士の岩田彩子さんが、C棟1階のカウンセリング室で、1回50分程度をめにカウンセリングを行います。相談希望者は、保健室に直接来室するか、メール、電話等で連絡してください。

## おかず味噌汁健やか力向上委員会 からのレシピ紹介 ごろごろ野菜とお芋の牛乳味噌汁

- 材料(1人分)
- ★ ブロッコリー 15g
  - ★ カリフラワー 15g
  - ★ さつまいも 30g
  - ★ にんじん 10g
  - ★ 味噌 5g
  - ★ だし汁 140ml
  - ★ 牛乳 15ml



おかず味噌汁

### 作り方 [下準備]

- ★ ブロッコリー：小房にしてゆでておく
- ★ カリフラワー：小房にしてゆでておく
- ★ さつまいも（皮付）：大き目のいちょう切り
- ★ にんじん：乱切り

- ①鍋にだし汁とさつまいもを入れひと煮立ちさせる。
- ②にんじんを加える。
- ③火が通ったら、下ゆでしたブロッコリー、カリフラワーを入れる。
- ④牛乳を加える。
- ⑤火を止め、味噌を溶き入れる。
- ⑥お椀に盛りつけてできあがり。

牛乳の  
まるやかな  
風味がプラス！



すこやん  
おかず味噌汁健やか力向上委員会  
イメージキャラクター

### 栄養価(1人分)

エネルギー	71kcal
たんぱく質	3.0g
脂質	1.1g
炭水化物	14.6g
食塩相当量	0.8g

日本食品標準成分表2015年版(七訂)により算出

## 社会福祉学科



木村 孝輔 さん

保健大に入学してから1ヶ月が経ち、ようやく大学生活にも慣れてきました。最初は不安でいっぱいでしたが、新入生研修やサークルなどを通して友人ができ、先輩とも関わることができたので、今では楽しく大学生活を送っています。一人暮らしが始まり自炊をするようになりました。新たな発見がたくさんあるため料理をするのが楽しいです。しかしこの1ヶ月、ほとんど鶏胸肉の料理しか作っていないので今後はもっといろいろな料理に挑戦してみたいです。社会福祉士になるという理想に向かって勉学に励むとともに、大学生の今でしかできないことにたくさん挑戦して、充実した4年間にしたいです。

## 栄養学科



渡邊 朱里 さん

青森県立保健大学に入学してから約1ヶ月が経過し、不安だらけだった大学生活にも少しずつ慣れ始めています。学科内はもちろん、他学科や先輩方との交流の場も設けられているおかげで新しい友人もでき、充実した日々を過ごすことができています。学習内容もこれまでとは違ってより高度で専門的であり、自分の夢に向かっていくという実感がして喜びを感じています。同じ志を持った仲間たちはかけがえないものです。これからも互いに切磋琢磨しながら積極的に学びに取り組んでいきたいと思っています。

看護学科



看護学科長  
鳴井 ひろみ

地域の健康を支える看護を目指して

看護学科は、看護の専門職である「看護師」「保健師」「助産師」を養成する学科であり、人間の生涯にわたる健康生活と地域特性を踏まえた社会的ニーズに対応できる人材を育成します。

コロナ禍での特に実践力に直結する実習教育については、感染対策を講じながら、実習施設との綿密な調整や様々な代替方法を駆使して取り組み、安全に実習目標が達成できるよう努めております。また、学生の支援体制として

は、1学年100名以上の学生に対し、担任制とチューター制を導入し、学生一人ひとりを見守る体制、就職および国家試験に対する支援体制を強化しています。

看護学科では、地域で生活している人々の健康を支える看護を目指し、本学のカリキュラムを通して、地域の魅力を理解できるよう、地域と共に考え、共に育っていく環境を提供し、ヒューマンケアを実践できる看護職者として成長できるよう支援していきます。さらに在学中から就業後も看護職者としての総合力修得とキャリア形成ができるよう大学と地域が連携したキャリアサポートの充実を図り、地域で活躍・定着する看護職者の育成に励み、地域の人々の健康に寄与できる人材育成に努めてまいりますので、今後ともご支援をお願い申し上げます。



ヘルスアセスメントⅠ

看護の対象の健康状態を把握する方法として、主に身体面の情報を総合的に判断するためのPhysical Assessmentの技法を習得する科目です。写真は身体の神経系のアセスメントの一つである、上腕二頭筋反射について打撃器を用いて演習を行っている場面で



小児看護援助論

3年次前期科目です。発達援助実習に向けて、健康障害をもつ小児の看護を理解し実践するために演習を行っています。子どもがスムーズに吸入ができるように声かけやディストラクションを実施している場面で

令和3年度卒業生 近況報告



むつ市役所  
子どもみらい部子育て支援課  
保健師  
賀佐 ゆう花さん

私は地元であるむつ市で、子育て支援課の保健師として働いています。現在は、妊産婦の窓口対応や乳幼児健診などを見学し、子育て支援に必要な知識を学んでいます。市民が安心して子育てをできるような街づくりに、一日でも早く貢献していきたいです。

皆さんには対象者の疾患や治療だけではなく、その先にある地域や暮らしを想像して寄り添うことを大切にしてほしいです。辛いことも多いですが、目標を忘れずに頑張ってください！

理学療法学科



理学療法学科長  
川口 徹

理学療法士の魅力

理学療法士は英語ではPhysical Therapistと表記されます。Physicalとは、「物理的、身体的な」という形容詞です。昔の理学療法は物理療法が大きなウエイトを占めていましたが、今は運動療法が主流であり、「身体的な」という意味が強いです。また、Therapistとは、「治療・療法」を意味するtherapyに「～する人」を意味する接尾語であるistを組み合わせた言葉であり、直訳すると「身体的な治療をする人」になります。

理学療法士が患者さんの治療をする場合、「身体」を中心にアプローチしますが、「身体」と「精神」は非常に関連しています。精神的に前向きにならないと、身体的な改善につながりません。したがって、理学療法士は、施術的には身体的アプローチをしますが、患者さんの声を傾聴しアドバイスすることで精神面への支援になります。患者さんを心身ともに支える魅力的な職業が理学療法士です。理学療法学科カリキュラムを学修し、より良い学びを得て欲しいと思います。



臨床評価実習

臨床評価実習では学外の実習施設（病院等）にご協力頂き、整形外科疾患と中枢神経疾患を抱える患者様に対して理学療法評価を実践します。これは実習前後に学内で教員が模擬患者となり、学生が練習している場面です。



生活活動分析学実習

超高齢社会の日本では高齢者に対して理学療法を実践する機会が必然として増えます。これは学生が高齢者疑似体験セットを用いて、視覚・聴覚・姿勢・四肢関節可動域などを高齢者に模して体験し、必要な支援を考えている場面です。

令和3年度卒業生 近況報告



一般財団法人 黎明郷  
弘前脳卒中・リハビリテーションセンター  
宮木 詩織さん

私は現在、脳卒中の患者様が中心の回復期病棟で勤務しています。実際に勤務して、患者様の多様な疾患に対応しその人に合った治療を提供するためには、多職種との活発なコミュニケーションやカンファレンスから得られる情報が重要であると改めて感じています。

本学は他学科との繋がりも強いので学生のうちから多職種連携の重要性について知ることができるといいます。また理学療法学科は少人数制であるため同級生との絆がとても強くなります。仲間と学び合い、支え合い、有意義な大学生活をお過ごしください。

## 社会福祉学科



社会福祉学科長  
工藤 英明

実践スキルを身につけ、  
社会のニーズに応えられる  
ソーシャルワーク専門職の養成を  
目指します。

社会福祉は、すべての人が幸せに暮らすことを目指していますが、現実社会では、疾病や障がい、貧困など生活上の困難に直面します。その解決手段のひとつとして、ソーシャルワークが位置付けられています。制度があっても解決できない課題も多々あります。また、家族や友人などとの人間関係の調整、地域の中での孤立などでは、その状況を把握・理解し、解決策を立案し、各種社会資源を調整するスキルが求められます。

近年、社会ニーズの変化に伴い、ソーシャルワーカーの活動領域は、司法や教育、行政機関へと拡大してきています。

知識は学び、調べることで獲得できますが、実践スキルはトレーニングを繰り返す必要があります。本学科の教育特徴は、演習・実習時間を規定時間より多く配し、かつ4学科合同授業により多職種連携を意図した実践力の向上を目指している点です。特徴あるカリキュラムを有する本学科で、実践力のあるソーシャルワーカーを目指してみませんか。



### 社会福祉基礎実習

この科目は1年次必修の実習科目で、専門的学習の導入となっています。学内では援助・被援助体験として、移動介助と高齢者疑似体験を行っています。また、学外では小グループで2か所の施設に赴き、実際の業務を見学・体験します。



### ソーシャルワーク実習指導

実習を終えると、グループ学習でソーシャルワークの総合的な理解を深めます。互いの経験を共有し言語化を図ります。実習報告会では各グループより討論テーマが示され、会場の1~3年生はディスカッションを通し、より本質的な理解を目指します。

## 令和3年度卒業生 近況報告



横浜市子ども青少年局  
子ども福祉保健部北部児童相談所  
支援係 児童福祉司  
工藤 有紗さん

私は4月から横浜市北部児童相談所で児童福祉司として働いています。主に虐待や、保護者の養育能力が低いことによって家庭で生活ができない児童や保護者の環境調整を行います。区役所や学校等様々な関係機関と連携しながら仕事を行うため、1人ではなく1つのチームで行う仕事です。周りの人に助けられながら、少しずつ自分の出来ることが増えてきたので成長を感じています。児童相談所としての自分の役割は何か常に考えながら、チームに貢献できるように頑張りたいです。

## 栄養学科



栄養学科長  
齋藤 長徳

食べるを通して生きるにつなげる  
管理栄養士

栄養とは、外部から食物を摂取し、含まれる栄養素を体内に取り込み、代謝を通じて、生命を維持する一連の営みをいいます。この適切な営みによって生体の恒常性が保たれ、生命活動が維持され、健康的な生涯を全うできます。よって栄養は健康や疾病と深く関わり、管理栄養士は、栄養の専門職として人々の健康長寿、人間らしく生きるの願いに応えるのです。

今、栄養は保健・医療・福祉・教育等の場で広く注目されています。本学科は、これらに専門的知識と技術・意欲を持って実践できる管理栄養士の育成に専門的教員が輪と和をもって臨んでいます。また学生が掛けることなく、主体性をもって能動的に学習に挑める環境づくりにも努めています。

「食べる」(栄養・食)を以って、「生きる」(生命と健康)の課題に情熱的に対峙し、人や地域に貢献できる管理栄養士を育てます。



### 基礎栄養学実験

ヒトを対象とした実験で、基本的な栄養素の消化、吸収、代謝、排泄やエネルギー消費、代謝に変化を及ぼす遺伝子多型についての理解を深めます。写真は呼気ガス分析で身体活動のエネルギー量の測定を行っている様子です。



### 臨床栄養学実習II

糖尿病の方に栄養指導をするための実習を行っています。学生同士の模擬指導ですが、指導者役だけでなく、患者役もしっかりと準備をし、実践的な学びをしています。

## 令和3年度卒業生 近況報告



北上市役所  
健康子ども部健康づくり課  
管理栄養士  
久保 美友さん

私は、北上市役所健康子ども部健康づくり課に勤務しています。現在の主な業務は乳幼児健診や離乳食教室での栄養指導、特定健診やがん検診の対応等です。今後は特定健診に関わる栄養指導や食育における業務等も携わります。知識不足を実感することも多いですが、先輩方に熱心にご指導いただき、責任感を持って業務に励んでいます。

今後はさらに具体的かつ根拠のある指導が的確にできるよう努め、地域の健康づくりに貢献できる管理栄養士を目指します。



後援会会長  
太田 幸夫

後援会会長あいさつ

後援会会員の皆様には、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

本学は、建学の理念である「ヒューマンケアを実践できる人間性豊かな人材の育成」のもと、実践的な社会人育成に向けた専門性の高い大学として着実にその存在感を高めてきております。

後援会では、新入生研修や学生の福利厚生、大学祭、サークルなどの活動および卒業研究の助成等、学生が大学に入学してから卒業するまでのさまざまな場面で学生に対する支援を行っております。

後援会会員の皆様のご理解とご協力のもと、後援会では、これからも学生の成長を温かく見守っていきたくと考えておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

令和4年度青森県立保健大学後援会役員

役職名	新任	役員氏名	学科	学年
会長		太田 幸夫	理学療法学科	3年
副会長 (理事)		長内 美保子	社会福祉学科	2年
	○	福士 幸子	理学療法学科	1年
理事		佐藤 光恵	看護学科	3年
		角田 睦子	栄養学科	2年
		高坂 義人	理学療法学科	2年
	○	大友 夏美	社会福祉学科	1年
	○	齊藤 久美	栄養学科	1年
監事		高松 誠	看護学科	3年
	○	小田桐 芳江	看護学科	1年
顧問	○	児玉 寛子		

後援会 決算、予算

令和3年度 後援会決算書

(収入の部) (単位:円)

項目	予算額(A)	収入額(B)	比較(B-A)	摘要
1 会費収入	11,827,500	11,827,500	0	@50,000 × 229人 (学部学生) @37,500 × 1人 (編入学生: 社福) @20,000 × 17人 (大学院生)
2 前年度からの繰越金	28,455,143	28,455,143	0	
3 雑収入	208	599,827	599,619	前年度及び今年度サークル助成費戻入分・卒業関係助成費戻入分・預金利息等
合計	40,282,851	40,882,470	599,619	

令和4年度 後援会予算書

(収入の部) (単位:円)

項目	3年度予算(A)	4年度予算(B)	比較(B-A)	摘要
1 会費収入	11,827,500	11,915,000	87,500	(大学予算案ベース) 学部生 @50,000 × 230人 編入生(栄養) @37,500 × 2人 大学院生 @20,000 × 17人
2 前年度からの繰越金	28,455,143	31,926,683	3,471,540	
3 雑収入	208	208	0	預金利息(前年度実績)
合計	40,282,851	43,841,891	3,559,040	

(支出の部) (単位:円)

項目	予算額(C)	支出額(D)	比較(D-C)	摘要
1 会議費	15,000	1,675	△ 13,325	後援会総会・理事会等出席に係る役員の交通費
2 事務費	170,000	212,535	42,535	保護者等懇談会の開催案内発送費、各事業費振込手数料、後援会費振込用紙印刷代 *不足分は新入生研修費より支出
3 事業費	11,799,000	8,741,577	△ 3,057,423	
(1)サークル活動助成費	1,833,000	1,284,400	△ 548,600	自治会活動助成費、サークル助成費
(2)大学祭等助成費	1,500,000	600,000	△ 900,000	大学祭運営費
(3)会報誌作成費	230,000	230,723	723	「活彩!保健大学だより」(年2回発行)作成・発送費の後援会負担分 *不足分は大学祭等助成費より支出
(4)学生福利厚生費	3,800,000	2,829,284	△ 970,716	肝炎検査、貧血検査、実習に係る諸検査費用
(5)卒業関係・国家試験対策関係助成費	3,601,000	3,641,002	40,002	卒業関連事業助成、卒業研究助成、特別・課題研究助成 *不足分は新入生研修費より支出
(6)新入生研修費	800,000	156,168	△ 643,832	新入生研修に係る助成費
(7)その他	35,000	0	△ 35,000	大学院生関連事業
4 予備費	52,000	0	△ 52,000	
小計	12,036,000	8,955,787	△ 3,080,213	
5 次年度以降事業費	28,246,851	31,926,683	3,679,832	
合計	40,282,851	40,882,470	599,619	

(支出の部) (単位:円)

項目	3年度予算(C)	4年度予算(D)	比較(D-C)	摘要
1 会議費	15,000	15,000	0	理事会・監事監査等出席に係る役員の交通費
2 事務費	170,000	300,000	130,000	保護者懇談会開催案内等送料、各種振込手数料、後援会費振込用紙印刷代
3 事業費	11,799,000	11,548,000	△ 251,000	
(1)サークル活動助成費	1,833,000	1,833,000	0	自治会活動助成費、サークル助成費、サークル特別助成費
(2)大学祭等助成費	1,500,000	1,400,000	△ 100,000	大学祭運営費
(3)会報誌作成費	230,000	250,000	20,000	「活彩!保健大学だより」作成・発送費の後援会負担分
(4)学生福利厚生費	3,800,000	3,800,000	0	肝炎検査、貧血検査、実習に係る諸検査費用
(5)卒業関係・国家試験対策関係助成費	3,601,000	3,780,000	179,000	卒業関連事業助成、卒業研究・国家試験対策助成 修了関連事業助成、特別・課題研究助成
(6)新入生研修費	800,000	450,000	△ 350,000	新入生研修に係る助成費
(7)その他	35,000	35,000	0	大学院新入生ウェルカムランチョンパーティー
4 予備費	52,000	52,000	0	慶弔費など
小計	12,036,000	11,915,000	△ 121,000	
5 次年度以降事業費	28,246,851	31,926,683	3,679,832	
合計	40,282,851	43,841,683	3,558,832	

※次年度への繰越金 31,926,683円(総収入 40,882,470円 - 総支出 8,955,787円)

退職

看護学科

- 福岡 裕美子  
6年間お世話になりました。学部生、院生、教職員のみなさまからいろいろなことを学びました。ありがとうございました。保健大の益々のご発展をお祈りしております。
- 中島 玲子  
初めて取り組む「地域定着枠」の推進について、教職員の皆様に支援をいただきながら、何とか道筋を作ることができたように思います。この取り組みが青森県の地域包括ケアに貢献できますよう祈念いたします。
- 稲野邊 みゆき  
私にとって「教える」難しさを実感した3年間であったように思います。母性・助産学実習では学生の成長に喜びを感じ、学生と共に自分自身が成長できたと感じています。この経験を今後活かしていきたいと思ひます。3年間、ありがとうございました。
- 佐々木 知映  
5年間お世話になりました。毎日が充実しており、とても勉強になりました。保健大のますますの発展をお祈り申し上げます。

理学療法学科

- 佐藤 秀一  
開学から23年を経て定年退職。青森は中3の修学旅行、全国学会に続いて保健大学勤務が3回目であり、いずれも出身地の札幌からでした。これからも青森の地酒をとことん堪能する観点から県民の健康を考えていく所存です。
- 藤田 智香子  
教職員の皆様には大変お世話になりました。また、在校生や卒業生の皆様の成長にも心励まされ、癒やされ、やりがいを感じ、おかげさまで大過なく充実した時間を過ごすことができました。心から感謝申し上げます。

社会福祉学科

- 石田 賢哉  
2007年4月から2022年3月まで大変お世話になりました。学生さんたちは素直で素晴らしい、先生方もとても親切で本当によかったです。4月からは山口県立大学でお仕事をさせていただきます。ありがとうございました。

栄養学科

- 飯島 美夏  
日本各地の大学で教員として教育研究に携わっていますが、保健大に勤務し、日本は広く、地域により人も異なると感じました。皆様から、私自身、多くのことを学ぶことができました。
- 山岡 伸  
ほぼ本州を横断して西日本から来て、出身である広島の方が通じない場面や、雪が積もる場所で初めて生活し、青森では、驚きの毎日でした。皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

他 退職教員

- 社会福祉学科 廣森 直子、宮本 雅央、東田 全央
- 語学講師 ヴィッキー ウィリアムズ

新任

看護学科

- 出貝 裕子  
4月から青森県にUターンし老年看護学領域に着任いたしました。高齢者がより心豊に生活できる社会を創造できるよう、学生の皆さんと一緒に挑戦を続けていきたいと思ひます。よろしくお祈りいたします。
- 柴田 まり  
母性・助産学領域の助手として着任いたしました。私は、産科病棟・NICUでの臨床経験を11年間積んできました。教育の場では1年目になるので学生の皆様と共に学び成長できたらと思ひます。よろしくお祈りいたします。
- 井戸向 郁奈  
母性看護学・助産学領域の助手として着任いたしました。本学を卒業後、産科で4年間勤務しておりました。学生の皆さんと一緒に学び、成長していきたいと思ひます。よろしくお祈りいたします。

理学療法学科

- 渡邊 龍憲  
4月に理学療法学科の准教授として着任しました。初めての青森生活を楽しみにしております。学生と共に学ぶ姿勢を忘れずに教育研究活動を実践していきたいと思ひますので、どうぞよろしくお祈りいたします。
- 福士 勇人  
理学療法学科の講師として着任いたしました福士勇人（ふくしいさと）と申します。理学療法の深淵を楽しみつつ、教育・研究に取り組んでいきたいと思ひます。よろしくお祈り申し上げます。

社会福祉学科

- 高阪 悌雄  
4月より社会福祉学科に着任しました。近畿地方の出身で、青森に住むのは初めてです。教育活動を通して、深く学び思考する知的で若者らしい表情を、たくさんの学生から引き出せていけたらと思ひます。よろしくお祈りいたします。
- 田中 尚樹  
4月より講師として着任しました。発達障害者支援が専門です。前職は厚生労働省の発達障害施策調整官です。岐阜県出身で青森は初めてですが、学生の皆さんと青森の福祉について共に学んでいきたいと思ひます。
- 尾崎 麻理  
社会福祉学科助手として着任いたしました。コロナ禍にあり学びの環境も変化していますが、学生の皆さんにとって少しでも学びやすい環境になるようにサポートできればと思ひます。よろしくお祈りいたします。

栄養学科

- 神田 晃  
栄養という身体活動の根源の営みは、微細な物質代謝機構、健康状態の決定因子、また食事を通じた心と心の連なり取りです。皆さんと一緒にこれらの働きを解き明かしていければ幸いです。
- 七島 直樹  
4月から着任いたしました。主に食品学関連の講義と実験を担当いたします。管理栄養士を目指す学生さんたちと一緒に研究ができることを楽しみにしています。どうぞよろしくお祈りいたします。

— ウィズコロナ時代の先を見据えて、大学院でのキャリアアップはいかがですか —  
— 私たちは、地域の“健康と福祉”を担う研究者や高度専門職業人を育成します —



大学院健康科学研究科長  
佐藤 伸

本学大学院の特徴をご紹介します。  
一つ目は、本学大学院は他大学ではあまりみられない、多職種との連携を大切に学際的な研究を推進しています。私たちは、「自分自身の研究テーマを持ちつつ、隣接する他の学問領域と連携して研究を進めることは多職種との連携につながる」と信じています。大学院の修了後は、たとえば、博士前期課程では、修士（健康科学）、修士（看護学）、修士（社会福祉学）の学位を取得できます。そして、来年度からは、新しい修士号である「修士（公衆衛生学）」を取得できるコースがスタートします。このコースでは、感染症などの健康危機管理、地域の人々の健康寿命の延伸や生活の質の向上といった公衆衛生上の課題の解決に向けた活動を担うリーダー的な人材を育成します。

二つ目は、「学び方」です。たとえば、講義・演習科目については、自らの研究課題やキャリアパスに応じて柔軟に履修できるようにしています。そして、遠方からでも自分のペースでじっくりと研究できるように、また社会人が働きながら学べるように、オンラインを活用して、単に移動の時間や費用等の便宜を図るだけではなく、高度で豊富な修学の機会を提供しています。それゆえ、本学大学院は、学部を卒業してさらに研究を進めたい人、勤めつつも人々の健康やより良い生活を支えるための研究をしたいという熱意を持っている人にとっては、キャリアアップに最適な学びの場となるでしょう。  
本学の大学院で培った高度の専門知識と研究力は、研究者として、あるいは高度専門職業人として、将来の目標を達成させるためにきつと役立つことと信じています。研究する楽しさや、わくわくする気持ちを共有できる皆様をお待ちしています。

## 国家試験結果と卒業後の進路について

### 国家試験合格率

#### 看護学科

**看護師** 100%  
受験者 105名 合格者 105名

**保健師** 100%  
受験者 29名 合格者 29名

**助産師** 100%  
受験者 6名 合格者 6名

#### 理学療法学科

**理学療法士** 100%  
受験者 30名 合格者 30名

保健師・助産師・看護師  
国家試験の合格率が  
すべて100%を達成したのは、  
**本学開学以来  
初の快挙**です。

#### 社会福祉学科

**社会福祉士** 82.0%  
受験者 50名 合格者 41名

**精神保健福祉士** 100%  
受験者 8名 合格者 8名

#### 栄養学科

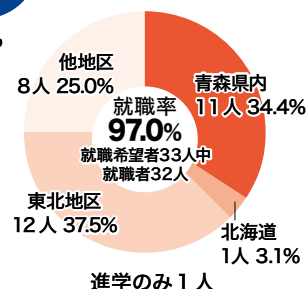
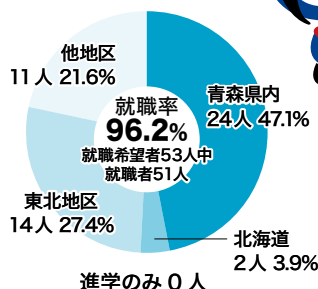
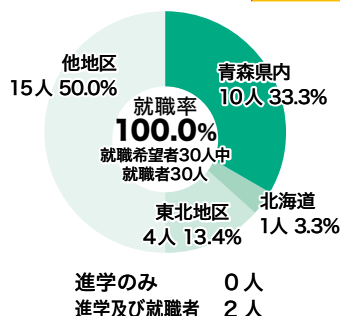
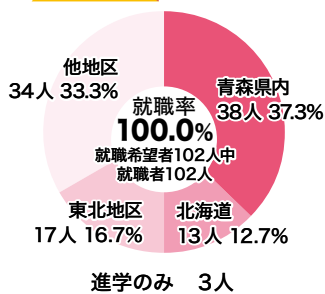
**管理栄養士** 94.1%  
受験者 34名 合格者 32名

社会福祉士は、  
新卒受験者数名50以上の  
学校別区分において  
**全国1位**です。

県内就職率が、  
昨年度から4.8ポイント  
増加しました。



### 就職率 令和4年5月1日時点



## 本学における「就職支援」について

学年あるいは学科に分けて就職活動セミナーを12回程度開催しています。セミナーでは、「ビジネスマナー」、「自己分析」、「応募書類の書き方」、「面接対策」等の内容を実施します。

また、学科毎に行う「就職ガイダンス」では、卒業生を招き、現在の仕事や職場のこと、就活の体験談をお話いただき、終了後は在学生の個別相談にも応じてくれます。さらに、年3回、本学主催による「合同事業所説明会」を開催しており、県内外の事業所が参加しています。他にも、公務員対策講座の開催や増加しているオンラインによる就職活動や就職試験を機能的に支援することを目的として、防音機能のある箱型個室(通称リンリンズBOX)を4台設置した「リモートワークルーム」を開設するなど、きめ細やかな支援を行っています。



箱型個室(通称：リンリンズBOX) 4台を設置したリモートワークルーム

### 今年度の合同事業所説明会

- 春季合同事業所説明会  
(看護学科・社会福祉学科・栄養学科対象)  
4月16日(土) オンライン
- 夏季合同事業所説明会 (理学療法学科対象)  
7月2日(土) オンライン
- 秋季合同事業所説明会 (社会福祉学科・栄養学科対象)  
10月~11月実施予定

発行：青森県立保健大学 広報委員会・青森県立保健大学 後援会



公立大学法人 AOMORI UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE

**青森県立保健大学**

〒030-8505

青森県青森市大字浜館字間瀬 58-1 電話 017-765-2000(代表)・FAX 017-765-2188 URL <https://www.auhw.ac.jp/>